



『クワーツの心』の43 子どもたちへの出前講義

私は、昨年12月から次代を担う中学生を対象に、本市が有する魅力やまちづくりの方向性、特に子どもたちの将来に関わる地域の産業、働く場などについて説明するために出前講義を行っている。講義の前に本市の特徴や舞鶴に住み続けたいと思っているか否かのアンケートを行った。その結果、約4割の生徒が「舞鶴には住みたくない」と答え、その理由は「舞鶴にはやりたい仕事がないから」であったが、具体的な職業をイメージしている生徒は4人に1人とわずかであった。全ての生徒が高等学校への進学を希望しているが、具体的な職業を目指している生徒は全体で4割と少なかった。この結果から、「舞鶴に仕事がないから住めない」と思っている生徒が少なくないことが判明した。私の講義で、舞鶴を含む京都府北部5市2町は、従業員が100人以上の働く場が約130社もある商工業地帯で仕事があること、地域の優れた歴史・伝統文化、豊かな自然を伝えることで、「舞鶴で働きたい」「将来は戻ってきたい」といった声を子どもたちから聞き、改めて、我々大人が、ふるさと舞鶴への愛着と誇りを持って、このまちの素晴らしさ、地域の現状、まちの将来像を子どもたちに伝えることの重要性を実感した。ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓き、人を思いやり感謝する、そして、善悪の判断をもち自らを律する「自律」と夢の実現に向かって力強く生きる「自立」を兼ね備えた子どもたちを育成することが、地方創生に必須と考え、出前講義を続けたいと思っている。



くらしの豆知識 交通事故に気をつけて!!

舞鶴警察署によると、市内では国道27号、国道175号、府道小倉西舞鶴線(白鳥街道)などの幹線道路で、交通事故が多発しているとのこと。下記のことを気付けてください。特に夕暮時、夜間には十分注意してください。

◆**ドライバー**…シートベルトを着用しスピードを控えめにして、前をよく見て運転してください。また、道路を横断する歩行者や自転車には、十分注意してください。



◆**自転車に乗っている人や歩行者**…道路を横断する時、しっかりと左右の安全を確認してから渡ってください。また、夕暮時は、ライトや反射材を活用し、目立つ工夫をしましょう。



目立たない 目立つ
《市民課》



～ 今月のおすすめ本 ～



文化庁国語課の勘違いしやすい日本語 文化庁国語課
「破天荒」「役不足」「失笑する」これらの言葉の本来の意味を理解していますか? 世論調査で分かった言葉の捉え方の中から、特に思い違いや誤解が生じやすいものを取り上げ、本来の意味や使い方について説明します。《東》



最高に楽しい文房具の歴史雑学 ジェームズ・ワード
「口紅がヒントでスティックのりができた?」「家電メーカーの社名の由来はシャープペンシル?」など身近な文房具の歴史と物語を文房具愛好家の著者が熟っぽく解説しています。ありふれた文房具にも親しみと愛着が感じられるようになる1冊です。《西》

▶詳しくは、東図書館(☎62・0190) 西図書館(☎75・5406)へ。

生きかを育む

主体性を育む乳幼児教育の推進 ～みんなでつながり育む舞鶴の子ども～



このコラムでは、乳幼児は、日々の生活の中で自らやりたいと夢中になって行う「遊び」や五感を使った体験などを通して、知識だけでなく「興味・関心・目的・意欲」を持ち、「友達と思いを伝え合い、力を合わせ、根気強く取り組む」といった生きていく上でとても大切な「学びに向かう力」を獲得していることなどをお知らせしてきました。

この時期ならではの育ちや学びの特徴を、家庭はもとより、地域や保育所・幼稚園、学校などの関係者が共通理解し、乳幼児教育に取り組むことで、子ども達の豊かな育ちを保障すると共に、安心して子どもを産み育てる環境が整い、さらには社会の発展にもつながります。

このことから、乳幼児期の終わりまでに育てたい子どもの姿、乳幼児期に大切にしたいことを明確にするため、みんなで共に学びながら力を合わせて舞鶴の子どもを育てていくための目標となる「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」を現在策定しています。

今後とも同ビジョンに掲げる「育てたい子ども像」の実現に向け、市民の皆さんへの情報発信や意見交換などの交流の場づくりを進め、理解を深めていきます。

《教育委員会、健康・子ども部》



多様性を認める社会に ～ ご存じですか LGBT ～

LGBT と言う言葉を聞いたことがありますか。LGBTとは、L=レズビアン(女性同性愛者)、G=ゲイ(男性同性愛者)、B=バイセクシュアル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(身体の性別と性自認の間に違和感のある人)の頭文字をとった言葉で、性指向および性自認における性的マイノリティ(少数者)を表します。

昨年、民間会社が行った性指向、性自認に関する調査によると、回答した約7万人のうち7.6%がLGBTを自認しているという結果が出ています。この数字は13人に1人という割合で、左利きの人や血液型がAB型の人のおける割合に近く、職場や学校などにおいてもLGBTは、当たり前どこにでもいる存在と言えます。

日本では、LGBTに対する理解は不十分で、LGBTであることを公表すると多くは「気持ちが悪い」「異常じゃない?」と差別的な扱いを受けるなどリスクが大きいため、本当の自分を誰にも打ち明けられずに生きていかざるを得ない状況にあります。

以前に、「子どもがLGBTだったら親はどうする?」というテーマでテレビ番組の放送がありまし

た。LGBTであることを公表している当事者が登場し「親がはじめてから理解してくれたのではなく、親の言葉に傷ついたこともあったし、死も考えたし…、良好な関係を築くのには何年もかかった」と経験談を語っていました。実の親にさえ、なかなか受け入れてもらえないことを、他人にカミングアウト(※)することは容易なことではないはず。

過去の歴史を振り返ってみると、社会は常に自分たちにとって「異質なものを」排除しようとしてきました。自分たちが認めたものだけが正しい、あるいは多数を占めるものだけが正しいとみなす傾向が強く、その結果、さまざまなマイノリティが差別や偏見の対象となってきました。

私たちは皆等しく「自分らしく生きる権利」を持っています。これは、人種や民族、性別を超えて全ての人に備わった権利であり、当然、LGBT当事者にもこの権利があります。私たちは、自分の身近に生きづらさを抱えながら暮らしているLGBTの存在を認識し、社会を共に生きる一員として特別視せず受け入れていくことが大切ではないでしょうか。

《人権啓発推進室》

※カミングアウト…自分が社会一般に誤解や偏見を受けている(同性愛者などの)少数派の主義・立場であることを公表すること。

我が家の タカラモノ

笑顔のたえない結愛人♡
これからはますますと大きく育ててね!



オレン ヒース
Orrin Heathくん (1歳9か月)



結愛人
結愛人くん (1歳)

掲載する3歳までの子どもの写真を募集中。
持参か郵送、メールで。

【応募に必要なもの】

- ◆応募者の住所 ◆応募者の氏名 ◆電話番号
- ◆お子さんの氏名とフリガナ ◆お子さんの性別
- ◆お子さんの写真(返却できません) ◆お子さんの生年月日
- ◆一言コメント(様式は自由)

▶詳しくは、広報広聴課(☎66・1041)へ。

メールの場合は下記のメールアドレスに送信してください。
「koho@post.city.maizuru.kyoto.jp」 ※容量は1メガバイト以内

全国大会等出場者を紹介

☆全日本バレーボール高等学校選手権大会

(1月5日～10日、東京都)

今岡由佳(京都橋高3年、城北中出身)

☆全国高等学校女子ソフトボール選抜大会

(3月18日～22日、千葉県)

藤原麻由(兵庫大付属須磨ノ浦高1年、白糸中出身)

☆都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会

(3月26日～28日、三重県)

梅原未来、波多野倫、山本蓮(以上城南中2年)

☆全国小学生ソフトテニス大会

(3月29日～31日、千葉県)

渡辺心愛(高野小6年)、橋本 光(中筋小5年)、
内藤拓磨(福井小5年)、加藤七菜(三笠小4年)、
高瀬美侑(倉梯小4年)、谷口新紗(高野小4年)、
三方晴楓(余内小4年)

〈以上敬称略〉

